



設定

- [概要 \(1 ページ\)](#)
- [IP 設定 \(1 ページ\)](#)
- [NTP サーバー \(5 ページ\)](#)
- [SMTP 設定 \(6 ページ\)](#)
- [時刻設定 \(7 ページ\)](#)

概要

IP 設定、ホスト設定、および Network Time Protocol (NTP) 設定を表示および変更するには、[設定 (Settings)] オプションを使用します。

IP 設定

[IP 設定 (IP Settings)] オプションを使用すると、イーサネット接続の IP とポートの設定を表示および変更できます。また、後続のノードでは、パブリッシャの IP アドレスを設定できます。

イーサネット設定

[IP 設定 (IP Settings)] ウィンドウには、Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) がアクティブかどうかが表示され、関連するイーサネット IP アドレスとネットワークゲートウェイの IP アドレスも表示されます。

すべてのイーサネット設定は、Eth0 にのみ適用されます。Eth1 の設定は構成できません。デフォルトでは、[最大転送単位 (MTU) (Maximum transmission unit (MTU))] は 1,500 バイトに設定されます。

IP 設定を表示するには、次の手順を実行します。



注意 Cisco Unity Connection の IP 設定を変更する手順は使用しないでください。



注意 Connection サーバーの IP アドレスの変更については、
https://www.cisco.com/c/ja_jp/support/unified-communications/unity-connection/products-installation-guides-list.html
 にある『Changing the IP Addresses of Cisco Unity Connection Servers』、『Unity Connection アップ
 グレードガイド』の「Cisco Unity Connection Servers の IP アドレスを変更する」を参照してく
 ださい。



注意 Unity Connection サーバーのホスト名の変更については、[https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/
 voice_ip_comm/connection/15/install_upgrade/guide/b_15cuciumg.html](https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/connection/15/install_upgrade/guide/b_15cuciumg.html)にある『Cisco Unity Connection
 インストール、アップグレード、およびメンテナンスガイド 15』を参照してください。

[Cisco Unified Communications Operating System Administration] ウィンドウから [設定 (Settings)] > [IP] > [イーサネット (Ethernet)] に移動します。

[イーサネット設定 (Ethernet Settings)] ウィンドウが表示されます。[イーサネット設定 (Ethernet Settings)] ウィンドウのフィールドの説明については、表 1: 設定イーサネットフィールド (表) イーサネット設定のフィールドと説明を参照してください。

表 1: イーサネット設定のフィールドと説明

フィールド	説明
DHCP	DHCP が有効か無効かを示します。
Hostname (ホスト名)	サーバーの完全なホスト名を表示します。
IP アドレス (IP Address)	システムの IP アドレスを表示します。
サブネットマスク (Subnet Mask)	IP サブネットマスクアドレスを表示します。
デフォルトゲートウェイ (Default Gateway)	ネットワークゲートウェイの IP アドレスを表示します。

イーサネット IPv6 の構成設定



(注) 次に示す設定は、Cisco Unity Connection リリース 9.0 以降に適用されます。IPv6 は、以前のバージョンの Cisco Unity Connection ではサポートされていません。

[イーサネット IPv6 構成設定 (Ethernet IPv6 Configuration Settings)] ページでは、IPv6 を有効にし、IP アドレスの取得方法を決定できます。

IPv6 設定を表示または変更するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** [Cisco Unified Communications Operating System Administration] ウィンドウから [設定 (Settings)] > [IP] > [イーサネット IPv6 設定 (Ethernet IPv6 Configuration)] に移動します。
- ステップ 2** イーサネット IPv6 設定を変更するには、該当するフィールドに新しい値を入力します。[イーサネット IPv6 構成設定 (Ethernet IPv6 Configuration Settings)] ウィンドウのフィールドの説明については、[表 4-2](#)を参照してください。
- ステップ 3** 変更を保存するには、[保存 (Save)] を選択します。

表 2: イーサネット IPv6 設定のフィールドと説明

フィールド	説明
IPv6を有効化 (Enable IPv6)	IPv6を有効にするには、このチェックボックスをオンにします。

フィールド	説明
アドレスソース (Address Source)	<p>次のいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ルータアドバタイズメント (Router Advertisement) : ネットワーク上のサーバーにネットワークプレフィックスをアドバタイズするようにネットワークルータが設定されている場合は、このオプションを選択します。 • DHCP : DHCPv6 プロトコルを使用してサーバーにアドレスを割り当てるには、このオプションを選択します (アドレスを提供するには、ネットワーク上で DHCPv6 サーバーを実行している必要があります)。 • 手動入力 (Manual Entry) : [IPv6 アドレス (IPv6 Address)] フィールドに手動でアドレスを入力する場合は、このオプションを選択します。 <p>(注) Cisco Unity Connection サーバーでは、ステティックな非リンクローカル IPv6 アドレスを使用することを推奨します。サーバーが DHCPv6 サーバーから、またはステートレスアドレス自動設定を介して IPv6 アドレスを取得する場合は、サーバーが DHCPv6 サーバーから 1 つの非リンクローカル IPv6 アドレスのみを取得することを確認します。</p>
IPv6 アドレス (IPv6 Address)	<p>アドレスソースとして [手動入力 (Manual Entry)] を選択した場合は、IPv6 アドレスを入力します。</p> <p>たとえば、次のように入力します。</p> <p>2001:0DB8:BBBB:CCCC:0987:65FF:FE01:2345</p>
サブネットマスク (Subnet Mask)	<p>[アドレスソース (Address Source)] として [手動入力 (Manual Entry)] を選択した場合は、ネットワークのプレフィックスに対応するアドレスのビット数を示すプレフィックス長 (0~128) を入力します。</p> <p>たとえば、64 と入力します。</p>

フィールド	説明
再起動による更新 (Update with Reboot)	更新した設定を保存するときにサーバーをすぐにリブートする場合は、このチェックボックスをオンにします。 (注) IPv6設定を有効にするには、システムを再起動する必要があります。

パブリッシャの設定

この機能は、Cisco Unified Communications Manager がサーバーに単独でインストールされている場合にのみ適用されます。

NTP サーバー

外部NTPサーバーがストラタム9以上（1～9）であることを確認します。外部NTPサーバーを追加、削除、または変更するには、次の手順を実行します。



(注) NTPサーバー設定は、最初のノードまたはパブリッシャでのみ設定できます。

ステップ 1 [Cisco Unified Communications Operating System Administration] ウィンドウから **[設定 (Settings)] > [NTP サーバー (NTP Servers)]** に移動します。

[NTP サーバー設定 (NTP Server Settings)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 NTPサーバーを追加、削除、または変更できます。

(注) 発生する可能性のある互換性の問題、精度の問題、およびネットワーク ジッターの問題を回避するには、プライマリノードに指定する外部 NTP サーバーが NTP v4 (バージョン 4) である必要があります。IPv6 アドレッシングを使用している場合は、外部 NTP サーバーが NTP v4 である必要があります。

- NTP サーバーを削除するには、該当するサーバーの前にあるチェックボックスをオンにして、**[削除 (Delete)]** をクリックします。
- NTP サーバーを追加するには、**[追加 (Add)]** をクリックし、ホスト名または IP アドレスを入力し、**[保存 (Save)]** をクリックします。
- NTP サーバーを変更するには、IP アドレスをクリックし、ホスト名または IP アドレスを変更して、**[保存 (Save)]** をクリックします。

NTP サーバーに加えた変更は、完了するまでに最大 5 分かかる場合があります。NTP サーバーに変更を加えるたびに、ウィンドウを更新して正しいステータスを表示する必要があります。

ステップ 3 [NTP サーバー設定 (NTP Server Settings)] ウィンドウを更新して正しいステータスを表示するには、**[設定 (Settings)]** > **[NTP]** を選択します。

(注) NTP サーバーを削除、変更、または追加した後、変更を有効にするには、クラスタ内の他のすべてのノードを再起動する必要があります。

SMTP 設定

[SMTP 設定 (SMTP Settings)] ウィンドウでは、SMTP ホスト名を表示または設定し、SMTP ホストがアクティブかどうかを示すことができます。



ヒント システムから電子メールが送信されるようにするには、SMTP ホストを設定する必要があります。

SMTP 設定にアクセスするには、次の手順を実行します。

ステップ 1 [Cisco Unified Communications Operating System Administration] ウィンドウから **[設定 (Settings)]** > **[SMTP]** に移動します。

[SMTP 設定 (SMTP Settings)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 ホスト名または IP アドレスを入力します。

ステップ 3 **[保存 (Save)]** をクリックします。

時刻設定

手動で時間を設定するには、以下の手順に従います。



(注) サーバーの時刻を手動で設定する前に、設定した NTP サーバーを削除する必要があります。詳細については、[NTP サーバー](#)の項を参照してください。

- ステップ 1 [Cisco Unified Communications Operating System Administration] ウィンドウから [設定 (Settings)] > [時間 (Time)] に移動します。
- ステップ 2 システムの日付と時刻を入力します。
- ステップ 3 [保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ 4 Cisco Unity Connection サーバーで、日付を変更した場合、または時刻を 2 分以上変更した場合は、CLI コマンド `utils system restart` を使用してサーバーを再起動します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。